

科目名	動物形態機能学 I	担当講師 (実務経験)	岩崎 忍 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科	年次・学期	1年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(-)	時間(単位)	30(2)
概要	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の両面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解する				
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第1巻 基礎動物看護学 (緑書房)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合 (%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品	20%			
	授業態度				
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	生命のすがた(体の基本構造1)	生命の分類、細胞の構造と働き1		
	2	生命のすがた(体の基本構造2)	細胞の構造と働き2		
	3	生命のすがた(体の基本構造3)	細胞の構造と働き3		
	4	生命のすがた(体の基本構造4)	DNAと遺伝子、細胞分裂		
	5	生命のすがた(体の基本構造5)	組織の分類、器官の役割		
	6	運動器系1	骨の働きと構造		
	7	運動器系2	代表的な骨		
	8	運動器系3	関節の働きと構造、代表的な関節		
	9	運動器系4	筋肉の構造と収縮の仕組み		
	10	運動器系5	代表的な骨格筋と働き		
	11	体液と血液1	体液の組成と物質移動(拡散・浸透)		
	12	体液と血液2	血液の組成と働き1(血漿と血球)、造血器		
	13	体液と血液3	血液の組成と働き2(赤血球・白血球)		
	14	体液と血液4	血液の組成と働き3(血小板と血液凝固)		
	15	復習	前期の復習		

科目名	動物行動学 I (犬学)		担当講師 (実務経験)	名取 裕憲 有■ 無□		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	1年 (■前期 ・ □後期)		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(-)	時間(単位)	30(2)	
概要	犬の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する					
テキスト等						
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品	20%				
	授業態度					
	レポート	%				
出席状況	20%					
授業進行		講義テーマ	講義内容			
	1	動物行動学の基礎 1	動物行動学の4つの問い(適応・進化・機構・発達) 行動の進化と適応、家畜化			
	2	動物行動学の基礎 2	生得的行動と学習行動、脳による行動制御			
	3	個体維持行動 1	摂食及び飲水行動、排泄行動			
	4	個体維持行動 2	身づくろい行動、護身行動			
	5	発達過程と社会行動 1	発達ステージ(新生子期・移行期・社会化期・若年期・成熟期・高齢期)と各時期の行動学的特徴、生殖活動(性行動・母性行動)			
	6	発達過程と社会行動 2	コミュニケーション行動、敵対行動と親和的行動			
	7	学習理論 1	行動形成、馴化と感作			
	8	学習理論 2	古典的条件づけとオペラント条件づけ 学習に影響を与える因子			
	9	学習理論 3	基本的なトレーニング法 (トイレトレーニング、クレートトレーニング、甘噛み対策など)			
	10	問題行動 1	問題行動の定義と要因(遺伝的要因、生得的要因、環境要因)			
	11	問題行動 2	攻撃行動の種類、原因(動機づけ)と治療法			
	12	問題行動 3	恐怖・不安に起因する問題行動の原因と治療法			
	13	問題行動・治療 1	不適切な排泄行動の原因(動機づけ)と治療法			
	14	問題行動・治療 2	高齢性認知機能不全の原因と臨床徴候、対応			
15	問題行動・治療 3	行動診療の進め方、行動修正法と環境修正法の種類と適応、行動治療における薬物療法				

科目名	愛玩動物学 I (動物飼養管理学 I)		担当講師 (実務経験)	池田麻美・立石淳子・長崎幸恵・有壁和 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	1年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(10) 後期(5)	時間(単位)	30(2)	
概要	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼養管理方法					
テキスト等	愛玩動物飼養管理士 教本2級 第1巻 第2巻					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	授業進度は変更になる場合があります			
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%				
	レポート	%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ	講義内容			
	1	社会活動 ・ 動物愛護論	公益社団法人日本愛玩動物協会の目的、事業人は動物をどのように観てきたか			
	2	ウサギの適正飼養について	ウサギの習性、特徴、適正飼養			
	3	ハムスターの適正飼養について	ハムスターの習性、特徴、適正飼養			
	4	鳥の特徴	体のつくり ・ 主な飼い鳥の特徴と習性 ・ 毎日の世話と習性①			
	5	動物飼養管理 1	その他哺乳類、鳥類の飼養管理			
	6	動物関連法令概説	動物の愛護及び管理に関する法律			
	7	動物関連法令概説	動物の愛護及び管理に関する法律			
	8	動物関連法令概説	動物の愛護及び管理に関する法律			
	9	動物飼養管理 2	犬と猫の飼養管理			
	10	動物飼養管理 3	爬虫類の飼養管理・栄養と食事のポイント			
	11	試験対策 1	模擬試験 ①			
	12	試験対策 2	模擬試験 ②			
	13	試験対策 3	模擬試験 ③			
	14	試験対策 4	模擬試験 ④			
15	試験対策 5	模擬試験 ⑤				

科目名	トリミング学		担当講師 (実務経験)	長崎 幸恵 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	1年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(-)	時間(単位)	30(2)	
概要	トリミングの目的や必要性を理解する					
テキスト等	トリミングテキストⅠ・トリミング器具					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品 レポート	20%				
	授業態度	%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ		講義内容		
	1	グルーミングとは		グルーミングの意義・目的・心構え		
	2	実習器具の説明		実習器具の名称・種類・形・使用目的		
	3	実習器具の保管・消毒法		実習器具の正しい手入れ、保管、消毒法		
	4	トリミング実習時の身だしなみ		身だしなみのチェックポイント		
	5	トリミング実習の流れ		トリミング実習の流れ、注意事項		
	6	掃除・消毒		トリミング実習における衛生管理		
	7	トリミング用語		トリミングにおける専門用語を知る		
	8	グルーミングの手順		グルーミング実習における基本事項		
	9	応急処置		応急処置の意義		
	10	犬の体の基礎知識 1		犬体名称		
	11	犬の心理・感覚		犬の行動を理解する		
	12	犬の歯		犬の口腔内、お手入れについて		
	13	犬の皮膚・被毛		皮膚・被毛の構造と生理		
	14	犬の体の基礎知識 2		犬の毛色・狼指・狼爪・断耳・断尾		
15	犬種の特徴		代表的な犬種の原因・被毛の特徴・毛色・性格を理解する			

科目名	人と動物の関係学	担当講師 (実務経験)	名取 裕憲 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科	年次・学期	1年 (<input type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(一) 後期(15)	時間(単位)	30(2)
概要	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会的側面から、その実態、課題等を含めて理解する				
テキスト等					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	※講義内容は変更になる場合があります。		
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%			
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	人間と動物の関わり 1	動物の飼養・利用の歴史		
	2	人間と動物の関わり 2	欧米と日本の動物観、動物との関わり相違		
	3	人間と動物の関わり 3	動物の飼養と利用の現状		
	4	人間の福祉と愛玩動物の関わり 1	動物虐待と対人暴力の連動性に関する基礎知識		
	5	人間の福祉と愛玩動物の関わり 2	多頭飼育崩壊(アニマル・ホーディング)		
	6	人間の福祉と愛玩動物の関わり 3	愛玩動物が子供や高齢者に与える恩恵及び人間の加齢に伴って飼養困難になる様々な事情		
	7	動物介在療法の活動と記録の活用	動物介在療法の活動と記録の活用・カルテ記入		
	8	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 1	犬種選定、衛生管理と使用目的に沿った訓練、活動中の制御、事故防止		
	9	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 2	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育への関わり		
	10	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 3	動物との接触が人間に与える身体的・心理的影響		
	11	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 4	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育の目的と内容		
	12	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 5	動物介在教育に使用される動物の公衆衛生的適正、行動学的適正		
	13	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 6	当校の取り組み・体験授業-3 セラピー犬と車椅子体験		
	14	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 7	当校の取り組み・体験授業-4 セラピー犬と車椅子体験		
15	動物介在活動・動物介在療法 動物介在教育 8	学校飼育動物の目的や実態への関わり			

科目名	ビジネスマナー学	担当講師 (実務経験)	設楽 幸子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科	年次・学期	1年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)後期(—)	時間(単位)	30(2)
概要	社会人へ踏み出すために必要なビジネスマナーの基本と就職活動へ向けての自己理解と履歴書の書き方、面接攻略のポイントを学ぶ				
テキスト等	作成した講義用テキストを配布する				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%			
	レポート	%			
	出席状況	20%			
	授業進行		講義テーマ	講義内容	
1		社会へ踏み出すということ	「学生と社会人の違い」や「自立する」ということについて考え、社会へ踏み出すとはどういうことかを学ぶ		
2		社会人として身につけたいビジネスマナーの基本	動物医療に関わるスタッフに求められるビジネスマナーの大切さを知り、社会へ踏み出すためのビジネスマナーの基本を学ぶ		
3		社会人として身につけたいビジネスマナーの基本	社会へ踏み出すときにみについておきたいビジネスマナーの基本(あいさつ、表情、立ち居振る舞い)について学ぶ		
4		社会人として身につけたいビジネスマナーの基本	ビジネスマナーの基本(身だしなみ・言葉づかい/敬語)について学ぶ		
5		社会人として身につけたいビジネスマナーの基本	言葉づかい/敬語の演習問題にチャレンジ		
6		電話対応の基本	電話の受け方、かけ方を学ぶ		
7		電話対応の基本	電話の受け方、かけ方の演習問題にチャレンジ		
8		クレーム対応	受付及び電話におけるクレーム対応の基本を学ぶ		
9		クレーム対応	受付及び電話におけるクレーム対応の演習問題にチャレンジ		
10		社会人としてのコミュニケーション	良好な人間関係を築くための、話の聞き方・話し方・伝え方の基本を学ぶ		
11		社会人としてのコミュニケーション	話の聞き方・話し方・伝え方の演習問題にチャレンジ		
12		就職活動へ向けてのキャリアデザイン	就職活動のためのキャリアデザインとは何か、希望の道へ進むための準備(自己理解)は何かを学ぶ		
13		就職活動へ向けてのキャリアデザイン	魅せる履歴書の書き方のポイントを学ぶ		
14		就職活動へ向けてのキャリアデザイン	就職活動を成功させる面接攻略法を学ぶ		
15	全体授業のまとめ	振り返り			

科目名	動物形態機能学Ⅱ	担当講師 (実務経験)	岩崎 忍 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科	年次・学期	1年 (<input type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(一) 後期(15)	時間(単位)	30(2)
概要	動物の生命維持の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確率する				
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第1巻 基礎動物看護学(緑書房)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品	20%			
	授業態度				
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	消化器系1	消化管と消化腺の概略(基本的な消化管構造と消化管運動)		
	2	消化器系2	歯の構造と歯式、舌、咽頭		
	3	消化器系3	食道と胃の構造と働き		
	4	消化器系4	小腸と大腸の構造と働き		
	5	消化器系5	唾液腺と胃腺(唾液・胃液)		
	6	消化器系6	肝臓の構造と働き		
	7	消化器系7	膵臓の構造と働き		
	8	消化器系8	消化と吸収、栄養素の代謝1		
	9	消化器系9	栄養素の代謝2		
	10	循環器系1	大循環と小循環、心臓の構造1(外景と心膜)		
	11	循環器系2	心臓の構造2(弁と心音)		
	12	循環器系3	刺激伝導系と神経支配		
	13	循環器系4	血管の構造と代表的な血管		
	14	循環器系5	血圧調節の仕組み、リンパ系、胎子循環		
	15	復習	後期の復習		

科目名	動物臨床栄養学	担当講師 (実務経験)	稲村 秋織 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科	年次・学期	1年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)後期(15)	時間(単位)	60(4)
概要	5大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法などを修得する				
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第3巻 基礎動物看護学(緑書房)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	授業進度は変更になる場合があります		
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品	20%			
	授業態度				
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	基礎栄養	栄養素とは何か・消化と吸収		
	2	栄養各論①	炭水化物(糖質・食物繊維)・不足、過剰症		
	3	栄養各論②	たんぱく質・不足、過剰症		
	4	栄養各論③	脂質 栄養素の不足、過剰症		
	5	栄養各論④	ビタミン・不足、過剰症		
	6	栄養各論⑤	ミネラル・不足、過剰症		
	7	栄養各論⑥	水		
	8	食性の違い①	犬の食性・嗜好性・摂食行動・給与方法		
	9	食性の違い②	猫の食性・嗜好性・摂食行動・給与方法		
	10	栄養要求量①	BCS評価・要求量とは何か		
	11	栄養要求量②	エネルギー要求量計算法		
	12	ライフステージ①	成長期の栄養管理		
	13	ライフステージ②	維持期の栄養管理		
	14	ライフステージ③	妊娠・授乳期の栄養管理		
15	ライフステージ④	高齢期の栄養管理			

		講義テーマ	講義内容
授業進行	16	ペットフード学①	ペットフードの概念、歴史
	17	ペットフード学②	目的別食種類・分類・栄養基準
	18	ペットフード学③	ラベル表示・ペットフード安全法
	19	手作り食①	与えてはいけない食品・観葉植物
	20	手作り食②	カロリー計算
	21	手作り食③	レシピ作成
	22	疾患と栄養	特別療法食
	23	疾患と栄養 「肥満」	療法食の特徴や効果
	24	疾患と栄養 「尿石症」	療法食の特徴や効果
	25	疾患と栄養 「皮膚疾患」	療法食の特徴や効果
	26	疾患と栄養 「消化器疾患」	療法食の特徴や効果
	27	疾患と栄養 「口腔内疾患」	療法食の特徴や効果
	28	疾患と栄養 「心・腎疾患」	療法食の特徴や効果
	29	疾患と栄養 「その他疾患」	療法食の特徴や効果
	30	強制給餌と経管・静脈栄養法	強制給餌方法・経管栄養法の種類・管理上の注意点

科目名	公衆衛生学 I		担当講師 (実務経験)	森 九重 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	1年 (<input type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-) 後期(15)	時間(単位)	30(2)	
概要	環境及び食品衛生、疫学、人畜共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する					
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書第3巻基礎動物看護学(緑書房)					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品	20%				
	授業態度					
	レポート	%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ	講義内容			
	1	疫学と疾病予防 1	人獣共通感染症とその対策 ①(病原体、感染症の分類)			
	2	疫学と疾病予防 2	人獣共通感染症とその対策 ②(新興感染症、狂犬病)			
	3	疫学と疾病予防 3	人獣共通感染症とその対策 ③(ウィルス性人獣共通感染症)			
	4	疫学と疾病予防 4	人獣共通感染症とその対策 ④(ウィルス性人獣共通感染症)			
	5	疫学と疾病予防 5	人獣共通感染症とその対策 ⑤(細菌性人獣共通感染症)			
	6	疫学と疾病予防 6	人獣共通感染症とその対策 ⑥(細菌性人獣共通感染症)			
	7	疫学と疾病予防 7	人獣共通感染症とその対策 ⑦(真菌、リケッチア)			
	8	疫学と疾病予防 8	人獣共通感染症とその対策 ⑧(寄生虫)			
	9	疫学と疾病予防 9	人獣共通感染症とその対策 ⑧(寄生虫)			
	10	疫学と疾病予防 10	感染経路			
	11	疫学と疾病予防 11	感染の成立			
	12	疫学と疾病予防 12	疾病・健康障害の発生要因			
	13	疫学と疾病予防 13	疫学調査法			
	14	疫学と疾病予防 14	予防疫学 ①			
15	疫学と疾病予防 15	予防疫学 ②				

科目名	公衆衛生学Ⅱ		担当講師 (実務経験)	薄田 治夫 有■ 無□		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	1年 (□前期 ・ ■後期)		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-) 後期(15)	時間(単位)	30(2)	
概要	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用					
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書第3巻基礎動物看護学(緑書房)					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品	20%				
	授業態度					
	レポート	%				
出席状況	20%					
授業進行		講義テーマ	講義内容			
	1	公衆衛生の概要 1	公衆衛生の目的			
	2	公衆衛生の概要 2	公衆衛生行政			
	3	公衆衛生の概要 3	国民衛生の動向			
	4	公衆衛生の概要 4	One Health と獣医療の関係			
	5	食品衛生 1	食品衛生と食中毒(ウイルス性食中毒、寄生虫による食中毒)			
	6	食品衛生 2	食品衛生と食中毒(化学物質による食中毒、アレルギー様食中毒)			
	7	食品衛生 3	食品衛生と食中毒(自然毒による食中毒、カビ毒)			
	8	食品衛生 4	アレルギー、食品保存			
	9	食品衛生 5	動物性食品の衛生、食品衛生管理手法(HACCPなど)			
	10	環境衛生 1	環境衛生・歴史・背景・現在の問題点			
	11	環境衛生 2	化学物質によってもたらされる健康障害			
	12	環境衛生 3	放射線による汚染と障害			
	13	環境衛生 4	衛生動物による人や動物への被害と対策			
	14	環境衛生 5	動物の咬傷による人への健康障害			
15	環境衛生 6	廃棄物の取扱い				

科目名	動物感染症学	担当講師 (実務経験)	内田 郁夫 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科	年次・学期	1年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(30) 後期(15)	時間(単位)	90(6)
概要	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎、感染防御に関わる免疫学の基礎について理解する				
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書第3巻基礎動物看護学(緑書房)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品	20%			
	授業態度				
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	微生物の分類と特徴 1	細菌の分類、形態、増殖方法及び病原性 ①		
	2	微生物の分類と特徴 2	細菌の分類、形態、増殖方法及び病原性 ②		
	3	微生物の分類と特徴 3	細菌の分類、形態、増殖方法及び病原性 ③		
	4	微生物の分類と特徴 4	ウイルスの分類、形態、増殖方法及び病原性 ①		
	5	微生物の分類と特徴 5	ウイルスの分類、形態、増殖方法及び病原性 ②		
	6	微生物の分類と特徴 6	真菌の分類、形態、増殖方法及び病原性 ①		
	7	微生物の分類と特徴 7	真菌の分類、形態、増殖方法及び病原性 ①		
	8	微生物の分類と特徴 8	真菌の分類、形態、増殖方法及び病原性 ②		
	9	微生物検査 1	検体採取と取り扱い		
	10	微生物検査 2	無菌環境下での必要な手技		
	11	微生物検査 3	微生物染色法、顕微鏡による観察法		
	12	微生物検査 4	微生物培養法		
	13	微生物検査 5	抗原検出法、抗体検出法、遺伝子検出法(PCR検査含む) ①		
	14	微生物検査 6	抗原検出法、抗体検出法、遺伝子検出法(PCR検査含む) ②		
15	微生物検査 7	薬剤感受性試験			

		講義テーマ	講義内容
授業進行	16	寄生虫の分類と特徴 1	原虫の分類、形態、生活環及び病原性 ①
	17	寄生虫の分類と特徴 2	原虫の分類、形態、生活環及び病原性 ②
	18	寄生虫の分類と特徴 3	蠕虫(吸虫、条虫、線虫)の分類、形態、生活環及び病原性 ①
	19	寄生虫の分類と特徴 4	蠕虫(吸虫、条虫、線虫)の分類、形態、生活環及び病原性 ②
	20	寄生虫の分類と特徴 5	衛生動物(ダニ、ノミなど)の分類、形態、生活環及び病原性 ①
	21	寄生虫の分類と特徴 6	衛生動物(ダニ、ノミなど)の分類、形態、生活環及び病原性 ②
	22	寄生虫の分類と特徴 7	寄生虫疾患の検査、診断法 ①
	23	寄生虫の分類と特徴 8	寄生虫疾患の検査、診断法 ②
	24	寄生虫の分類と特徴 9	駆虫薬や駆除剤の使用法
	25	動物感染症 1	病原体の感染経路と伝播様式 ①
	26	動物感染症 2	病原体の感染経路と伝播様式 ②
	27	動物感染症 3	感染症の成立要因
	28	動物感染症 4	主な感染症の症状、治療法、予防法 ①
	29	動物感染症 5	主な感染症の症状、治療法、予防法 ②
	30	動物感染症 6	主な感染症の症状、治療法、予防法 ③
	31	動物感染症 7	消毒、滅菌法
	33	動物感染症 9	院内感染の予防対策 ②
	34	免疫学の基礎と応用 1	総論 ①
	35	免疫学の基礎と応用 2	総論 ②

		講義テーマ	講義内容
授業進行	36	免疫学の基礎と応用 3	免疫担当細胞とその役割 ①
	37	免疫学の基礎と応用 4	免疫担当細胞とその役割 ②
	38	免疫学の基礎と応用 5	自然免疫と獲得免疫 ①
	39	免疫学の基礎と応用 6	自然免疫と獲得免疫 ②
	40	免疫学の基礎と応用 7	液性免疫と細胞性免疫 ①
	41	免疫学の基礎と応用 8	液性免疫と細胞性免疫 ②
	42	免疫学の基礎と応用 9	アレルギー(I~V型)と自己免疫疾患 ①
	43	免疫学の基礎と応用 10	アレルギー(I~V型)と自己免疫疾患 ②
	44	免疫学の基礎と応用 11	ワクチンの原理と種類、接種プログラム ①
	45	免疫学の基礎と応用 12	ワクチンの原理と種類、接種プログラム ②

科目名	比較動物学 I (野生動物学)	担当講師 (実務経験)	池田 麻美 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科	年次・学期	1年 (<input type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(―) 後期(15)	時間(単位)	30(2)
概要	野生動物の概要を理解するとともに、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ				
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第2巻 基礎動物学 (緑書房)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品	20%			
	授業態度				
	レポート	%			
出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	フィールドワーク 1	愛玩動物と野生動物の違いを学ぶ(北海道立野幌総合運動公園)		
	2	フィールドワーク 2	愛玩動物と野生動物の違いを学ぶ(北海道立野幌総合運動公園)		
	3	フィールドワーク 3	愛玩動物と野生動物の違いを学ぶ(北海道立野幌総合運動公園)		
	4	フィールドワーク 4	愛玩動物と野生動物の違いを学ぶ(円山公園)		
	5	フィールドワーク 5	愛玩動物と野生動物の違いを学ぶ(円山公園)		
	6	フィールドワーク 6	愛玩動物と野生動物の違いを学ぶ(円山公園)		
	7	動物の種類及び特性	飼養動物と野生動物の比較、歴史、社会的位置づけ及び特徴		
	8	野生動物 1	野生動物の分類と生物多様性 ①		
	9	野生動物 2	野生動物の分類と生物多様性 ②		
	10	絶滅危惧種 1	定義と動物種、原因、保全方法 ①		
	11	絶滅危惧種 2	定義と動物種、原因、保全方法 ②		
	12	外来生物 1	定義、在来生態系に及ぼす影響、対策 ①		
	13	外来生物 2	定義、在来生態系に及ぼす影響、対策 ②		
	14	展示動物 1	動物園の役割とその意義		
15	展示動物 2	動物園等における個体・群管理、行動管理、施設管理			

科目名	動物内科看護学 I	担当講師 (実務経験)	中山 美帆 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科	年次・学期	1年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(15)	時間(単位)	60(4)
概要	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録等について理解する				
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第4巻 基礎動物看護学(緑書房)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品	20%			
	授業態度				
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	健康の保持・増進	健康診断の内容と目的		
	2	診療補助に必要な技術 1	診察における愛玩動物看護師の役割		
	3	診療補助に必要な技術 2	診察室の準備と衛生管理 ①		
	4	診療補助に必要な技術 3	診察室の準備と衛生管理 ②		
	5	診療補助に必要な技術 4	動物種ごとの適切な接し方		
	6	診療補助に必要な技術 5	保定の基本的な原理、目的、方法 ①		
	7	診療補助に必要な技術 6	保定の基本的な原理、目的、方法 ②		
	8	診療補助に必要な技術 7	身体検査・アセスメント項目		
	9	投薬に関わる技術 1	薬の処方		
	10	投薬に関わる技術 2	内服薬の使用法		
	11	投薬に関わる技術 3	薬剤の注射法		
	12	投薬に関わる技術 4	外用薬の使用法、薬浴の実施法		
	13	投薬に関わる技術 5	投薬前後の注意事項		
	14	検査・処置に必要な技術 1	マイクロチップの挿入		
15	検査・処置に必要な技術 2	酸素吸入			

		講義テーマ	講義内容
授業進行	16	検査・処置に必要な技術 3	注射器の取扱い及び管理方法
	17	検査・処置に必要な技術 4	採血の目的と方法 ①
	18	検査・処置に必要な技術 5	採血の目的と方法 ②
	19	検査・処置に必要な技術 6	採尿の目的と方法(穿刺、カテーテル導尿など) ①
	20	検査・処置に必要な技術 7	採尿の目的と方法(穿刺、カテーテル導尿など) ②
	21	検査・処置に必要な技術 8	穿刺と吸引
	22	検査・処置に必要な技術 9	各種カテーテル挿入
	23	輸液に関わる技術 1	輸液の適応とリスク、輸液計画
	24	輸液に関わる技術 2	各種輸液剤の特性や適応、輸液中のモニタリング
	25	輸血に関わる技術 1	輸血の適応とリスク、輸血計画、クロスマッチ試験と血液型
	26	輸血に関わる技術 2	各種輸血製剤の適応や特性
	27	輸血に関わる技術 3	輸血に関わる手技、輸血による副反応
	28	心電図と血圧に関わる技術 1	心電図検査の目的と意義、実施方法
	29	心電図と血圧に関わる技術 2	血圧測定の方法と意義、注意点 ①
30	心電図と血圧に関わる技術 3	血圧測定の方法と意義、注意点 ②	

科目名	動物外科看護学 I	担当講師 (実務経験)	岩崎 忍 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科	年次・学期	1年 (<input type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-) 後期(15)	時間(単位)	30(2)
概要	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する				
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第4巻 基礎動物看護学(緑書房)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品	20%			
	授業態度				
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	術前準備 1	術前手続・術前検査		
	2	術前準備 2	無菌的処置の重要性		
	3	術前準備 3	手術衣、タオル・ドレープ類、手術器具の準備、滅菌法		
	4	術前準備 4	手術室の機械類、器械台の準備		
	5	術前準備 5	動物の適切なポジショニング、術野の消毒		
	6	術前準備 6	手洗い、手術着、手袋の着用法		
	7	麻酔 1	麻酔処置時における愛玩動物看護師の役割		
	8	麻酔 2	麻酔リスクの評価(ASA分類など)		
	9	麻酔 3	麻酔前投与(鎮静など)、注射麻酔(局所麻酔を含む)の手技		
	10	麻酔 4	吸入麻酔の手技、導入時、覚醒時のリスクと対処法		
	11	麻酔 5	麻酔看視項目の監視方法と意義、麻酔記録の作成法		
	12	外傷、創傷管理 1	創傷の種類と治癒課程と管理方法		
	13	外傷、創傷管理 2	ドレーンの装着と管理法		
	14	外傷、創傷管理 3	止血法		
15	外傷、創傷管理 4	骨折・脱臼の管理、包帯法			

科目名	動物看護学概論		担当講師 (実務経験)	伊藤 航 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	1年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(—)	時間(単位)	30(2)	
概要	獣医療の歴史や愛玩動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する					
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書第3巻基礎動物看護学(緑書房)					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品	20%				
	授業態度					
	レポート	%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ	講義内容			
	1	動物看護の基本となる概念 1	動物看護の目的、概念			
	2	動物看護の基本となる概念 2	獣医療と動物看護の歴史			
	3	動物看護の基本となる概念 3	獣医療倫理、動物看護師の倫理綱領			
	4	動物看護の基本となる概念 4	動物にとっての健康、福祉、QOL			
	5	動物看護の基本となる概念 5	動物病院における愛玩動物看護師の役割			
	6	動物看護の提供体制 1	社会における動物病院の役割			
	7	動物看護の提供体制 2	一次診療と二次診療、救急獣医療の役割と連携			
	8	動物看護の提供体制 3	インフォームドコンセント、セカンドオピニオン、守秘義務			
	9	動物看護の提供体制 4	診療録(カルテ)と動物看護記録の作成、保存義務			
	10	動物看護の提供体制 5	職場における労働安全衛生、危険の防止・対処法			
	11	愛玩動物看護師の社会的立場 1	愛玩動物看護師の職能団体			
	12	愛玩動物看護師の社会的立場 2	愛玩動物看護師の資格制度と業務範囲、資格認定機関			
	13	愛玩動物看護師の社会的立場 3	愛玩動物看護師に関するその他の代表的な組織・団体			
	14	愛玩動物看護師の社会的立場 4	国際的な動物看護師の業務や資格制度の違い			
	15	総括	まとめ			

科目名	動物臨床看護学総論		担当講師 (実務経験)	中山 美帆 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	1年 (<input type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-) 後期(15)	時間(単位)	30(2)	
概要	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きをおいた動物看護の基本的な考え方を修得する					
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書第5巻基礎動物看護学(緑書房)					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品	20%				
	授業態度					
	レポート	%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ		講義内容		
	1	動物看護過程の展開 1		動物看護過程の展開		
	2	動物看護過程の展開 2		5つの要素		
	3	動物看護過程の展開 3		動物看護実践・看護記録用紙		
	4	動物看護過程の展開 4		アセスメント・看護診断		
	5	動物看護過程の展開 5		動物看護計画		
	6	動物看護過程の展開 6		評価・実践		
	7	動物看護記録の作成 1		事例による動物看護過程①		
	8	動物看護記録の作成 2		事例による動物看護過程②		
	9	動物看護記録の作成 3		事例による動物看護過程③		
	10	診療記録		診療録(カルテ)の作成		
	11	動物看護業務 1		チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割		
	12	動物看護業務 2		若齢、老齢動物の看護の特徴		
	13	ターミナルケアに関わる技術 1		ターミナルケアの目的と意義		
	14	ターミナルケアに関わる技術 2		QOL やホスピス、緩和ケア		
15	ターミナルケアに関わる技術 3		グリーフケア ・ エンゼルケア			

科目名	動物臨床検査学		担当講師 (実務経験)	岩崎 忍 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	1年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(-)	時間(単位)	30(2)	
概要	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方					
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第4巻 基礎動物看護学 (緑書房)					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合 (%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品	20%				
	授業態度					
	レポート	%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ		講義内容		
	1	臨床検査の基礎 1		臨床検査における愛玩動物看護師の役割		
	2	臨床検査の基礎 2		検体採取法(血液、尿、便、粘膜、スワブ、体表組織など)		
	3	尿検査 1		尿の性状検査		
	4	尿検査 2		尿沈渣		
	5	糞便検査 1		虫卵・原虫の検出法		
	6	糞便検査 2		細菌の観察法		
	7	血液検査 1		血漿、血清の分離法・全血球計算法(CBC)		
	8	血液検査 2		血液塗抹の作製及び観察法		
	9	血液検査 3		ヘマトクリット管を用いた検査		
	10	血液検査 4		凝固検査の目的と意義		
	11	血液検査 5		血液化学検査の目的と意義		
	12	血液検査 6		血液ガス検査の目的と意義		
	13	血液検査 7		免疫学的検査の目的と意義		
	14	細胞診と病理組織検査		細胞診断の目的と方法・病理組織検査のための検体の取扱い		
	15	遺伝子検査		遺伝子検査の目的と応用例・遺伝子検体の採取及び取扱い		

科目名	動物形態機能学実習		担当講師 (実務経験)	岩崎 忍 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	1年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(—)	時間(単位)	30(1)	
概要	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ					
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第1巻 基礎動物看護学 (緑書房)					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合 (%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品	%				
	授業態度					
	レポート	20%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ		講義内容		
	1	顕微鏡の取扱い 1		顕微鏡各部の名称、鏡検条件		
	2	顕微鏡の取扱い 2		顕微鏡の適切な操作法①		
	3	顕微鏡の取扱い 3		顕微鏡の適切な操作法②		
	4	顕微鏡の取扱い 4		顕微鏡の適切な管理法①		
	5	顕微鏡の取扱い 5		顕微鏡の適切な管理法②		
	6	運動器 1		代表的な骨の観察、名称と特徴①		
	7	運動器 2		代表的な骨の観察、名称と特徴②		
	8	運動器 3		代表的な骨の観察、名称と特徴③		
	9	運動器 4		代表的な関節の名称と構造、機能		
	10	運動器 5		代表的な骨格筋の名称と構造、機能		
	11	内臓器官 1		主要な内臓器官の配置		
	12	内臓器官 2		生殖器の雌雄差		
	13	組織像の観察 1		臓器の組織像観察①		
	14	組織像の観察 2		臓器の組織像観察②		
15	組織像の観察 3		組織像に見られる代表的な構造と機能			

科目名	動物内科看護学実習 I		担当講師 (実務経験)	岩崎 忍 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	1年 (<input type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(一) 後期(15)	時間(単位)	30(1)	
概要	内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を習得する					
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第4巻 基礎動物看護学(緑書房)					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品	%				
	授業態度					
	レポート	20%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ		講義内容		
	1	診療補助 1		診療の準備や診察室の衛生管理①		
	2	診療補助 2		診療の準備や診察室の衛生管理②		
	3	診療補助 3		聴診器や体温計、注射器の適切な取り扱い方①		
	4	診療補助 4		聴診器や体温計、注射器の適切な取り扱い方②		
	5	身体検査 1		全身状態の評価①		
	6	身体検査 2		全身状態の評価②		
	7	身体検査 3		バイタルサインの評価①		
	8	身体検査 4		バイタルサインの評価②		
	9	診療補助 5		基本的な保定①		
	10	診療補助 6		基本的な保定②		
	11	診療補助 7		基本的な保定③		
	12	診療補助 8		採血・採尿などの手順①		
	13	診療補助 9		採血・採尿などの手順②		
	14	診療補助 10		薬剤の取扱い、経口投与・注射の手順①		
	15	診療補助 11		薬剤の取扱い、経口投与・注射の手順②		

科目名	動物外科看護学実習 I		担当講師 (実務経験)	岩崎 忍 ・ 高橋 宣充 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	1年 (<input type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(一) 後期(15)	時間(単位)	30(1)	
概要	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する					
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第4巻 基礎動物看護学(緑書房)					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	授業進度は変更になる場合があります			
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品	%				
	授業態度					
	レポート	20%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ	講義内容			
	1	術前準備 1	手術器具の準備、滅菌、手術衣、タオル、ドレープ類の準備と滅菌			
	2	術前準備 2	手術に必要な機器、機械台の準備・手術台への動物の固定、術野の消毒			
	3	術前準備 3	手洗い、手術衣や手袋の装着			
	4	術中補助 1	麻酔器の各部名称や使用法の理解、操作方法			
	5	術中補助 2	モニター機器(心電図、血圧計など)の接続、術中監視			
	6	術中補助 3	麻酔記録の作成			
	7	術中補助 4	直接補助(器械の受渡しなど)・間接補助(无影灯、保温マットの操作など)			
	8	術中補助 5	歯科器具の取扱い、歯科処置(歯石除去など)補助			
	9	術後管理 1	術後の創傷管理(ネット、カラー)			
	10	術後管理 2	術後の創傷管理(包帯(粘着性、自着性))			
	11	術後管理 3	抜糸補助・保定法			
	12	救急救命 1	必要な機材、薬剤の準備 ①			
	13	救急救命 2	必要な機材、薬剤の準備 ②			
	14	救急救命 3	気管挿管補助・保定法			
15	救急救命 4	心肺蘇生(人工呼吸、心マッサージ)手順の習得				

科目名	動物臨床検査学実習 I	担当講師 (実務経験)	岩崎 忍 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科	年次・学期	1年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(-)	時間(単位)	30(1)
概要	検体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を習得する				
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第4巻 基礎動物看護学(緑書房) 動物看護実習テキスト第3版(エデュワードプレス)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品	%			
	授業態度				
	レポート	20%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	器具・検体の取り扱い	器具の名称、取り扱いと片付け方、医療廃棄物などの取り扱い		
	2	染色法	様々な染色方法		
	3	尿検査 1	物理化学性状の記録		
	4	尿検査 2	尿沈査を観察、所見の記録		
	5	糞便検査 1	虫卵及び原虫の検出法①		
	6	糞便検査 2	虫卵及び原虫の検出法②		
	7	血液検査 1	検体採取・処理の手順を(クイック染色)		
	8	血液検査 2	検体採取・処理の手順を(ギムザ染色・グラム染色)		
	9	血液検査 3	検体採取・処理の手順を(採血法、保定、血液の処理)		
	10	血液検査 4	マイクロピペット・遠心分離器		
	11	血液検査 5	血漿、血清を分離		
	12	血液検査 6	血液塗抹標本の作製、染色		
	13	血液検査 7	血液一般検査(CBCの測定と正常値)		
	14	血液検査 8	生化学検査(腎機能・肝機能・膵機能・電解質など)		
	15	細胞診 1	検査の準備・補助・保定法①		

科目名	動物看護総合実習 I		担当講師 (実務経験)	池田 麻美 有■ 無□		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次・学期	1年 (□前期 ・ ■後期)		
授業形態	□講義 ■実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-)後期(35)	時間(単位)	70(2)	
概要	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する					
テキスト等						
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	実習先での評価を基に総合的に評価 実習前オリエンテーションの実施 施設により実習内容は変更になる場合があります			
	定期試験	%				
	小テスト・技術力・作品	%				
	レポート	50%				
	授業態度	30%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ	講義内容			
	1	動物病院実習	チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割を理解 動物診療施設を見学し設備や機能を理解 愛玩動物を適正に管理する方法について理解 動物病院の衛生管理・環境整備の必要性を理解 1日の振り返り(自宅にてレポート作成)			
	2					
	3					
	4					
	5					
	6	動物病院実習	チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割を理解 動物診療施設を見学し設備や機能を理解 愛玩動物を適正に管理する方法について理解 動物病院の衛生管理・環境整備の必要性を理解 2日の振り返り(自宅にてレポート作成)			
	7					
	8					
	9					
	10					
	11	動物病院実習	チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割を理解 動物診療施設を見学し設備や機能を理解 愛玩動物を適正に管理する方法について理解 動物病院の衛生管理・環境整備の必要性を理解 3日の振り返り(自宅にてレポート作成)			
	12					
	13					
	14					
	15					
	16	動物病院実習	チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割を理解 動物診療施設を見学し設備や機能を理解 愛玩動物を適正に管理する方法について理解 動物病院の衛生管理・環境整備の必要性を理解 4日の振り返り(自宅にてレポート作成)			
	17					
	18					
	19					
	20					
	21	動物病院実習	チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割を理解 動物診療施設を見学し設備や機能を理解 愛玩動物を適正に管理する方法について理解 動物病院の衛生管理・環境整備の必要性を理解 5日の振り返り(自宅にてレポート作成)			
	22					
	23					
	24					
	25					
	26	動物病院実習	チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割を理解 動物診療施設を見学し設備や機能を理解 愛玩動物を適正に管理する方法について理解 動物病院の衛生管理・環境整備の必要性を理解 6日の振り返り(自宅にてレポート作成)			
	27					
	28					
	29					
	30					
	31	動物病院実習	チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割を理解 動物診療施設を見学し設備や機能を理解 愛玩動物を適正に管理する方法について理解 動物病院の衛生管理・環境整備の必要性を理解 6日の振り返り(自宅にてレポート作成)			
	32					
	33					
	34					
35						

科目名	トリミング基礎実習 I		担当講師 (実務経験)	伊藤 航 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	愛玩動物看護学科		年次学期	1年 (<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期)		
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(30) 後期(30)	時間(単位)	120(4)	
概要	トリミングの基礎を身に付ける					
テキスト等	実習器具 トリミング学 I テキスト 犬体モデル					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合 (%)				
	定期試験	60%				
	小テスト技術力作品 レポート	20%				
	授業態度	%				
	出席状況	20%				
授業進行	前期	講義テーマ	講義内容			
	1	ガイダンス 1	トリミング実習時の身だしなみ			
	2	ガイダンス 2	実習器具名前つけ犬体モデル配布 ブラッシング練習			
	3	ガイダンス 3	実習室の掃除と消毒法 キャリーケース消毒法			
	4	ガイダンス 4	ウィッグのブラッシング シザー練習			
	5	ガイダンス 5	トリミング実習前の準備 掃除の実践			
	6	ガイダンス 6	ブラッシング練習 綿棒の作り方			
	7	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 1			
	8	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 2			
	9	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 3			
	10	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 4			
	11	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 5			
	12	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 6			
	13	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 7			
	14	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 8			
15	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 9				

	前期	講義テーマ	講義内容
授業進行	16	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 10
	17	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 11
	18	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 12
	19	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 13
	20	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 14
	21	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 15
	22	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 16
	23	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 17
	24	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 18
	25	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 19
	26	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 20
	27	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 21
	28	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 22
	29	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 23
	30	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 24
	31	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 25
	33	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 27
	34	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 28
	35	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 29
	36	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 30
37	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 31	
38	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 32	

	後期	講義テーマ	講義内容
	39	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 33
	40	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 34
	41	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 35
	42	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 36
	43	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 37
	44	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 38
	45	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 39
	46	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 40
	47	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 41
	48	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 42
授業進行	49	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 43
	50	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 44
	51	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 45
	52	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 46
	53	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 47
	54	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 48
	55	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 49
	56	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 50
	57	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 51
	58	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 52
	59	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 53
	60	基礎実習 ステップ1	グルーミング作業 犬の保定 器具の使用法 54